

第 37 回 男女優勝旗（安藤旗）大会【運営・競技要項】

- 競技規則：令和 7 年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める 6 人制競技規則による。
但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
- 競技方法：トーナメント方式（男子、女子、混合の部はシードを適用する。）

1. 【開場・設営・入館・受付・監督会議】

- (1) 開場：各会場の開館時間は 8：00 とする。
- (2) 設営：各会場のコート設営は、県小連役員と各チーム関係者（2 名程度）にて行う。
※コート設営に協力できるチーム関係者（コート設営のできる方）をお願いします。
設営に係わらない方の入場は認めません。
設営に係わるチーム関係者は、7：50 までに会場の玄関前に集合する。
事前打ち合わせの実施
コート設営に取りかかる前に、コート設営の確認を競技員とチーム関係者で事前打ち合わせを行う。事前打ち合わせの場所は、体育館の中とする。
- (3) 入館：選手の入場は、コート設営完了後、係の指示により入館とする。
- (4) 受付：各チームは、コート設営完了後に本部で受付を済ませる。
受付時に構成メンバー表を提出する。領収書を受領する。
- (5) **監督・育成会代表者会議**：コート設営終了後、監督と育成会代表者（1 名）会を本部付近で行う。

2. 【開会式・閉会式、表彰】

- (1) 開会式：行わない。ただし、各会場の 1 試合目直前（1 試合目の両チームがコートエンドライン整列後）に前年度優勝チームによる優勝旗返還セレモニーを行う。
- (2) 閉会式：行わない。
- (3) 表彰：優勝、準優勝、3 位までをコートで表彰する。

3. 【試合・記録集計】

- (1) 試合の進め方：試合順は組み合わせによる。
- (2) 公式練習、ウォームアップ：公式練習はすべての試合で行う。
各チームは、その日の 1 試合目の前に練習（ウォームアップ）時間を **15 分**間設けて、その後プロトコルとする。
公式練習以外の練習は、隣接するコートの試合に影響する練習をしないこと。
- (3) 試合間：2 試合目以降の試合間はスコアシートが本部へ返却されてから **5 分間**、連続試合の場合は **10 分間**とする。但し、**最大の試合間は、前試合終了後 15 分間**とする。
- (4) **記録の集計**：試合終了後、両チームのキャプテンからサインをもらった後、記録の集計場所は本部付近に集計用の机を設けるのでそこで行う。（該当レフリーも立ち会う）
- (5) 試合球：大会主催者（県小連）で準備する。（女子：ミカサ、男子、混合：モルテン 軽量 4 号）
- (6) 空気圧チェック：県小連で対応する。
- (7) 試合開始、終了時の握手・挨拶：試合開始、終了時は、コート中央にて相手チームと握手をする。
- (8) **ワイピング、モップ**
競技エリアが汗でぬれた場合、原則、コート内の選手によるワイピングで対応する。
モップを入れるかどうかの判断は、ファーストレフリー、セカンドレフリーの判断とする。
但し、タイムアウトと TTO 時及びセット間のモップ使用は可能とする。
（注!! TTO 時のモップ掛けは選手以外が行う）

4. 【ベンチスタッフ】

ベンチスタッフは、ベンチでのマナーを守ること。（暴言・暴力は絶対にゆるさない!!）
※暴言・暴力などを見かけた場合は、退場・失格処分とする。
ベンチの椅子は 9 脚とする。
ベンチスタッフの服装は統一し、短パン類や襟無しシャツの着用はしない。
試合中の“うちわ”の使用やタオル等の首、肩かけは禁止とする。（県小連服装規定の遵守）
ベンチスタッフは、全員がチームスタッフとして MRS 登録をする。
ベンチスタッフは、規程の胸章を提示する。
監督は試合中、指導者研修会終了証を胸部に提示する。
※ベンチスタッフに変更がある場合は、監督会議前に“スタッフ変更届け出”を提出する。

5.【審判】

(1) 審判団及び補助員

- ① チームは審判員を帯同する。
- ② 組み合わせ表を確認し遅延することなく準備する。
また、相互審判の場合はスコアラー、ラインジャッジ及び補助員の配置は各チームの指導者同士で協議し対応する。
- ③ 各チームは、スコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名の審判団、補助員を選出する。
- ④ 審判（補助員含む）をするチームは、フラッグ、筆記用具を各チームで準備する。

6.【ユニフォーム】

ユニフォームはユニフォーム規程に基づくユニフォームを着用すること。

全日本小学生バレーボール連盟又は鹿児島県バレーボール協会ホームページに掲載されている“ユニフォーム規程”を確認する。

混合チームは男女でデザインの違うユニフォームを着用する。但し、用意できない場合は、識別用バンドなど、男女を一目で判別できる対応を行う。（ズボンのみ変更やハチマキでの区別は認めない。）

7.【応援】

(1) 応援者と応援方法

鳴り物（太鼓、大きなメガホンなど大音量を発する物）は使用禁止とする。

※応援グッズとして竹は認める。ペットボトルにビーズ等を入れたものやメガホンをつぶしたものの使用は認めない。

(2) チームの応援幕について

応援幕は自チームが試合の時だけ取り付ける。手すりがある場合は、手すりの下にひもを結ぶ。

8.【昼食、その他】

- (1) 昼食時間：原則設けない。ただし試合進行の状況により対応する。
- (2) 各チームは熱中症対策や感染対策も行う。
- (3) 肖像権遵守の観点から SNS など個人情報を勝手に掲載しない。
- (4) 鹿児島県バレーボール協会ホームページ記載の大会要項を必ず確認する。
- (5) 大会において協議が必要となる事案は大会役員、大会会長が判断し対応する。

9.【体育館施設の使用など】

- (1) 各体育館の使用上の注意事項を遵守する。
- (2) 体育館内の更衣室や共通の部屋は、チーム休憩などの使用を禁止とする。
- (3) 熱中症対策として必要に応じて空調（冷房）設備を使用する。
冷房設備を利用する場合、各チームより費用を負担してもらう。
- (4) 喫煙は定められた場所で行う。
- (5) 履物は体育館の玄関（靴箱）に置かない。シューズケース等に入れてチームで管理する。
- (6) 施設内のコンセントの利用や、施設内及び施設周囲でコンロなどは使用しない。
- (7) トイレや洗面台に残飯などを捨てたり、排水管が詰まるような行為は行わない。
- (8) 器具、備品類の破損はチーム負担で実費弁償とする。
- (9) 弁当を業者に頼まれた場合は、受け取り及び弁当空の対応はチームで責任をもって行う。
- (10) 忘れ物がないようにチームで責任をもって備品管理をする。

タイムスケジュール

※時間は目安とし、試合時間は本部よりアナンスする。

【男子・女子・混合 共通】

11月23日（日曜日）

会場：男子 日吉体育館
女子 加世田体育館
混合 垂水体育館

- 7:50 大会役員集合、チーム関係者集合
- 8:00 設営準備（試合予定コートの設営。各チーム関係者2名程度）
各チームの関係者は、自チームが試合を行うコートを設営する。
- 8:30 チーム関係者（選手・指導者）入館。選手は会場2階又は1階のコート外で待機する。
保護者、応援者は全チームの選手、指導者が入館したあと入館する。
- 8:30 受付 原則、監督が受付を行う。
- 8:40 **監督・育成会代表者会議**（資料は事前配布の大会要項を各自持参）
当日の監督と育成会代表者（1名）で会議をおこなう。
- 9:00 1試合目のチームがコートを使用した練習を開始する（15分間）。
- 9:16 優勝旗返還セレモニー
第1試合直前（全コートの1試合目の選手がエンドラインに整列した状態）で、前年度の優勝チーム代表者が本部付近で優勝旗返還を行う。
- 9:19 1試合目 プロトコル（各コート同時開始）
- ※ 各チームの1試合目の前に、15分間の練習（ウォームアップ）時間を設ける。
その後、プロトコルとする。
- ※ 2試合目以降の試合間はスコアシートが本部へ返却されてから5分後とする。
連続試合の場合は10分後とする。
但し、最大試合間は、前試合終了後15分間とする。
- ※ 最終試合後、コートの撤収及びフロア清掃を行う。

○コート設営時の注意事項

- (1) 支柱に“巻き取り”が付いている方をファーストレフリー側（主審）に立てる。
（支柱の高さは、支柱のメモリで2.0mより少し高め（1.5cm程度）でセットする）
- (2) アンテナ、サイドバンド、支柱カバーの取り付けは、ネットの高さ（中央、両サイド）が規定値であることを確認してから行う。
- (3) サーブ打ち出し位置（6.5mライン）は、ラインテープ又はつい盾などで対応する。
- (4) 主審台側支柱に警告カードを取り付ける。
- (5) ベント後方にアップゾーンを設置する。（ラインテープ又はつい盾）
- (6) 点示板の配置は4番線審の斜め後ろ付近とする。
- (7) ベンチの椅子は隣接するコートとコートの中間に並べる。
また、ベンチの椅子はアタックラインの位置から1脚分空けてからエンドライン側に9脚並べる。ベンチ用の椅子の下には床材保護用のシートを敷く。

※コート設営は、できるだけチームの審判有資格者が中心となって行ってください。